

選択肢別回答数

国税専門官

教養択一試験

会場+自宅

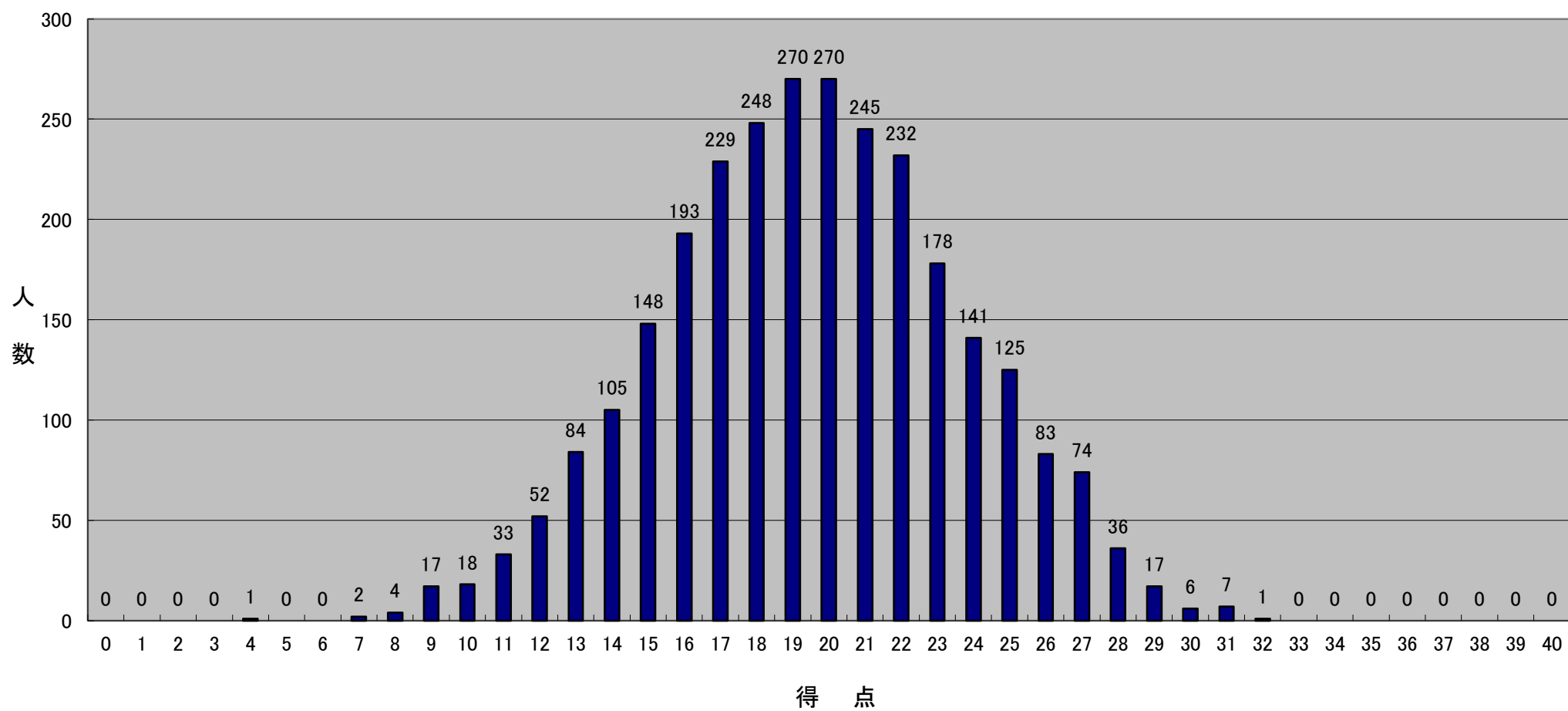
総受験者数

2819

2012年03月25日 実施

[illegible][illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0100161235	340102	32	津田沼
2	0100389826	010015	31	札幌
2	0100412928	190045	31	立川
2	0101916706	440003	31	京都
2	0102235324	910815	31	自宅
2	0102889003	370092	31	名古屋
2	0103577907	910323	31	自宅
2	9102131499	910372	31	自宅
9	0101379321	520019	30	神戸
9	0101568617	490101	30	なんば
9	0102871603	370028	30	名古屋
9	0103047024	130065	30	池袋
9	0104361504	280002	30	横浜
9	9100803405	060164	30	水道橋

選択肢別回答数

2012年03月25日 実施

国税専門官

專門一試験

会場+自宅

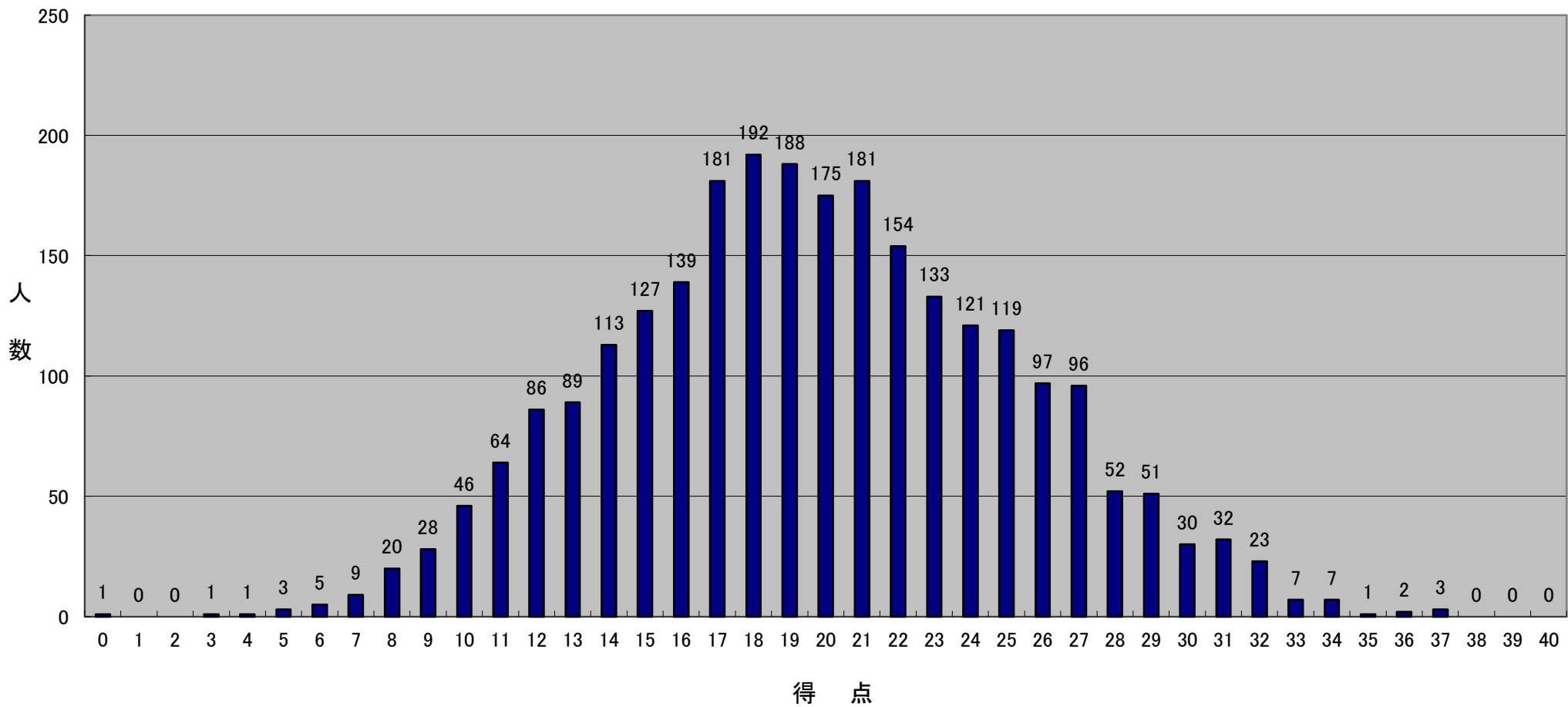
総受験者数

2577

	民・商	民・商	民・商	民・商	民・商	民・商	民・商	民・商	民・商	会计学	会计学	会计学	会计学	会计学	会计学	会计学	会计学	憲・行	憲・行	憲・行	憲・行	憲・行	憲・行	憲・行	経済学	経済学	経済学	経済学	経済学	経済学	財政学	財政学
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30		
肢1	261	125	65	1891	219	149	296	396	139	599	247	125	672	239	126	340	50	279	604	245	72	106	255	59	434	192	662	144	102	82		
	10.1%	4.9%	2.5%	73.4%	8.5%	5.8%	11.5%	15.4%	5.4%	23.2%	9.6%	4.9%	26.1%	9.3%	4.9%	13.2%	2%	10.9%	23.7%	9.6%	2.8%	4.2%	12.6%	2.9%	21.4%	9.5%	32.7%	7.1%	5.8%	4.6%		
肢2	1896	1486	231	92	857	1588	875	132	956	618	307	304	440	386	371	975	233	421	54	172	343	2318	223	127	974	339	173	757	1014	331		
	73.6%	57.7%	9%	3.6%	33.3%	61.6%	34%	5.1%	37.1%	24%	11.9%	11.8%	17.1%	15%	14.4%	37.8%	9.1%	16.5%	2.1%	6.8%	13.5%	91%	11%	6.3%	48.1%	16.7%	8.5%	37.4%	57.4%	18.7%		
肢3	61	244	259	234	1138	301	609	1575	743	365	612	434	606	442	858	427	2161	1290	328	114	1802	77	1190	686	282	218	400	621	299	170		
	2.4%	9.5%	10.1%	9.1%	44.2%	11.7%	23.6%	61.1%	28.8%	14.2%	23.7%	16.8%	23.5%	17.2%	33.3%	16.6%	84.8%	50.6%	12.9%	4.5%	70.7%	3%	58.8%	33.9%	13.9%	10.8%	19.8%	30.7%	16.9%	9.6%		
肢4	174	297	1699	278	223	266	455	313	227	302	591	1471	644	1031	816	639	21	197	1486	43	234	28	244	662	264	521	321	403	226	1083		
	6.8%	11.5%	65.9%	10.8%	8.7%	10.3%	17.7%	12.1%	8.8%	11.7%	22.9%	57.1%	25%	40%	31.7%	24.8%	0.8%	7.7%	58.3%	1.7%	9.2%	1.1%	12%	32.7%	13%	25.7%	15.9%	19.9%	12.8%	61.3%		
肢5	183	422	314	73	128	266	316	129	454	634	761	182	154	418	340	127	83	359	75	1968	92	16	72	467	62	749	458	86	92	69		
	7.1%	16.4%	12.2%	2.8%	5%	10.3%	12.3%	5%	17.6%	24.6%	29.5%	7.1%	6%	16.2%	13.2%	4.9%	3.3%	14.1%	2.9%	77.2%	3.6%	0.6%	3.6%	23.1%	3.1%	37%	22.6%	4.2%	5.2%	3.9%		
正 答	2	2	4	1	3	2	2	3	2	5	5	4	1	4	3	1	3	3	1	5	3	2	3	4	2	5	2	2	2	4		
正答者数	1896	1486	1699	1891	1138	1588	875	1575	956	634	761	1471	672	1031	858	340	2161	1290	604	1968	1802	2318	1190	662	974	749	458	757	1014	1083		
正答率(%)	73.6%	57.7%	65.9%	73.4%	44.2%	61.6%	34%	61.1%	37.1%	24.6%	29.5%	57.1%	26.1%	40%	33.3%	13.2%	84.8%	50.6%	23.7%	77.2%	70.7%	91%	58.8%	32.7%	48.1%	37%	22.6%	37.4%	57.4%	61.3%		
選採率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99	99	99	99	99	99	79	79	79	79	79	79	69	69		

	財政學	財政學	財政學	財政學	經營學	經營學	經營學	經營學	經營學	經營學	政社事	政社事	政社事	政社事	政社事	政社事	英一般	英一般	英一般	英一般	英一般	英一般	商業英	商業英	商業英	商業英	商業英	商業英		
	No.31	No.32	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50	No.51	No.52	No.53	No.54	No.55	No.56	No.57	No.58		
肢1	275	91	314	277	346	99	98	99	66	34	267	72	286	346	224	738	412	25	124	22	45	76	20	23	97	7	29	9		
	15.6%	5.1%	17.8%	15.7%	23.4%	6.7%	6.6%	6.7%	4.5%	2.3%	14.8%	4%	15.9%	19.2%	12.5%	41%	91.2%	5.5%	27.4%	4.9%	10%	16.8%	8.8%	10.1%	42.7%	3.1%	12.8%	4%		
肢2	85	128	374	572	724	1150	121	257	134	108	421	878	179	223	330	221	10	19	69	12	137	137	64	95	76	7	24	74		
	4.8%	7.2%	21.2%	32.4%	49.1%	77.9%	8.2%	17.4%	9.1%	7.3%	23.4%	48.8%	9.9%	12.4%	18.3%	12.3%	2.2%	4.2%	15.3%	2.7%	30.3%	30.3%	28.2%	41.9%	33.5%	3.1%	10.6%	32.6%		
肢3	258	152	585	469	132	23	141	866	125	825	505	387	956	610	367	353	9	20	104	112	190	140	58	29	32	43	133	68		
	14.6%	8.6%	33.1%	26.5%	8.9%	1.6%	9.6%	58.7%	8.5%	55.9%	28.1%	21.5%	53.1%	33.9%	20.4%	19.6%	2%	4.4%	23%	24.8%	42%	31%	25.6%	12.8%	14.1%	18.9%	58.6%	30%		
肢4	137	133	306	190	30	111	1060	130	1119	235	356	225	122	201	511	6	17	360	60	15	55	48	50	78	17	2	25	68		
	7.8%	7.5%	17.3%	10.8%	2%	7.5%	71.8%	8.8%	75.8%	15.9%	19.8%	12.5%	6.8%	11.2%	28.4%	0.3%	3.8%	79.6%	13.3%	3.3%	12.2%	10.6%	22%	34.4%	7.5%	0.9%	11%	30%		
肢5	1000	1254	178	239	240	89	50	103	25	261	244	233	254	407	358	464	4	28	95	291	24	45	35	2	5	168	16	7		
	56.6%	71%	10.1%	13.5%	16.3%	6%	3.4%	7%	1.7%	17.7%	13.6%	13%	14.1%	22.6%	19.9%	25.8%	0.9%	6.2%	21%	64.4%	5.3%	10%	15.4%	0.9%	2.2%	74%	7%	3.1%		
正 答	5	5	3	2	2	2	4	3	4	3	3	2	3	5	5	5	1	4	3	5	2	3	3	2	1	5	3	4		
正答者數	1000	1254	585	572	724	1150	1060	866	1119	825	505	878	956	407	358	464	412	360	104	291	137	140	58	95	97	168	133	68		
正答率(%)	56.6%	71%	33.1%	32.4%	49.1%	77.9%	71.8%	58.7%	75.8%	55.9%	28.1%	48.8%	53.1%	22.6%	19.9%	25.8%	91.2%	79.6%	23%	64.4%	30.3%	31%	25.6%	41.9%	42.7%	74%	58.6%	30%		
選採率(%)	69	69	69	69	57	57	57	57	57	57	70	70	70	70	70	70	18	18	18	18	18	18	9	9	9	9	9	9		

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0101709627	330032	37	津田沼
1	0102864605	060005	37	水道橋
1	9101152102	910671	37	自宅
4	9520822026	822026	36	中京大学
4	0101813117	910744	36	自宅
6	0101916706	440003	35	京都
7	0103273524	100125	34	新宿
7	0103995402	460091	34	梅田
7	0104088804	160056	34	渋谷
7	9101155802	470073	34	梅田
7	9102374099	350087	34	津田沼
7	9102824112	480045	34	なんば
7	9520822037	822037	34	中京大学
14	0100035633	110075	33	早稲田
14	0100091738	220031	33	中大駅前
14	0100202429	540006	33	広島
14	0101737317	500015	33	なんば
14	0102372705	060162	33	水道橋
14	0107567512	630016	33	富山
14	9520822078	822078	33	中京大学

TAC公務員講座 第2回公開模試（国税専門官） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 文章理解** 現代文も英文も内容合致問題としての出題が主流である。内容合致問題の場合、五肢のうち、確実に四つの選択肢は間違っているはずなので、その四つを消去することが正答率を上げるためにも重要である。本年から問題数が増えるため、やや長めの文章が出題されると、時間が足りなくなるおそれがある。普段から時間を計って練習しておこう。
- 2. 数的処理** 今回の模試では、難易度の判定が難しい問題をやや多めに出题した。新たな試験制度では、前年までの国税専門官・労働基準監督官などの本試験よりも、数的処理の出題数が増えることになるが、試験時間そのものは短くなる。しかし、問題の難易度は前年までと大差ないと予想されるので、時間配分には十分に注意して本試験に臨んでもらいたい。個々の問題をみると、【No. 18】（円卓）は、場合分けが多く、選択肢の活用も難しい。また、【No. 20】（割合と比）は一見単純に見えるが、途中で手が止まる人も多かったであろう。これらは、解き始めてからしばらくしてから難しいことに気づくタイプの問題で、こういった問題に時間を浪費するようだと、本試験でも苦しむことになる。「途中で捨てる」という考え方も学んでもらいたい。また、【No. 17】（順序関係）は、選択肢を活用して解くとかなり速く解ける。「場合分けが多くなる場合は、選択肢を活用する」ということも忘れないようにしてもらいたい。【No. 27】（資料解釈）は、フローチャートをしっかり読み取れば単純だが、読み取る作業の難しい資料である。このような問題も深追いは禁物である。今回の内容であれば、16 問中 10 問が合格ラインといえるだろう。
- 3. 自然科学** 基本レベル～発展レベルまで、難易度に差をつけて出題した。【No. 30】のように、無機化合物の性質だけでなく、工業的製法の名称まで知っておく必要がある。また、【No. 31】のように、細胞小器官は、はたらきだけでなく、形まで知っておいてもらいたい。基本～標準レベルを、ミスなく確実に得点源にすることが、大切である。今回は、5 問中 3 問は正答を得たい。
- 4. 人文科学** 日本史や世界史に比べて必要な知識は限られており思想と合わせた学習が効率的である。特に国税が第一志望であれば、日本史は 1 問でなおかつテーマ史の出題がほとんどなので頻出の外交史・土地制度史などをまとめておくとうい。
- 5. 社会科学・時事** 昨年までは、専門科目で学習する内容よりも、その隙間を埋めるような人権条約や司法制度改革などが出題されていたが、試験制度改革を受けて出題数が減ったため、時事が中心となることも予想される。さらに、専門で国際関係がないため、国際関係の分野から出題が予想される。核軍縮や国連および国際機関などは過去にも出題がま見られるので注意が必要である。

II. 専門択一試験

- 1. 法律系** 第 1 回の模試と同様に正答率が高い問題（65%～70%以上）を落としていないかを再度確認してほしい。また、国家公務員系の近時の本試験（国税・労基・国家一般職・裁判所事務官一般職）は組合せ問題が多いので、今回の模試も近時の本試験の傾向に合わせている。まず、**民法**は総則の分野から法律行為の無効と取消および代理、物権法の分野から抵当権に関する総合問題、債権法の分野から債権者代位権、契約の解除と問われているのは基本テーマが中心である。基本事項を確認すること。次に、**商法**については会社法について機関と株式に関連する問題が多いことから、機関から株主総会に関する基本事項を問うてみた。手形法は【No. 8】において約束手形に関する総合問題をきいてみた。さらに、**憲法**は問題数が限定されているためか、近時は人権重視の出題になっている。人権については判例の総合問題に関する【No. 17】はすべての判例を確認しておくこと。近時、表現の自由が問題となっているので、表現の自由に関する【No. 18】は要注意である。特に博多駅事件（肢エ）、北方ジャーナル事件（肢ア）は基本判例であるので再度確認しておくこと。統治については予算に関する【No. 19】は基本事項を確認すること。最後に、**行政法**も近時の本試験は難化しており、行政作用法から 2 問、行政救済法から 2 問が近時の傾向である。行政法も憲法人権と同様に基本判例を中心に復習するとよいだろう。【No. 20】の行政上の法律関係については民法の適用の有無を中心に復習すること。行政立法に関する【No. 21】については委任の範囲に関する重要判例を中心に整理しておくこと。国家賠償法 2 条に関する【No. 22】は河川管理や道路管理に関する基本判例を確認すること。
- 2. 政治学・社会学・社会事情** 【No. 41】の自由主義は、国税専門官としては基本的なレベルの問題である。【No. 42】の我が国の政治思想はやや細かい内容となっているが、過去にも同レベルの出題がある。この機会に解説をよく読んで学習しておこう。【No. 43】の選挙制度はやや細かいが、正解肢の難易度は高くないため正解できる問題である。【No. 44】の都市社会学は易問である。確実に正解しておきたい。【No. 45】は難問だが、正解肢の難易度は高くないため正解できる問題である。最後に【No. 46】も細かい問題だが、昨年は労働基準監督官と共通の問題だったので、今年も同様になる可能性が高い。この機会に解説をよく読んで覚えておこう。

（裏面に続く）

3. 経済系 経済学の理論問題のうち、【No. 26】の投資理論に関する問題の肢Dでとりあげられた投資効果曲線（ペンローズ曲線）については少々細かい論点であったが、その他の問題は基本論点であり、確実に得点しておきたい内容である。経済事情の2問も、時事対策が万全であれば、得点できたであろう内容なので（模試の時点で必ず得点する必要はないが）、本試験では取りこぼしがないようにしたい。財政学は【No. 29】のドーマーの公式に苦戦した受験生が多かったであろう。その他は基本論点中心になっているので、このレベルの内容であれば確実に得点したい。経済系の択一試験を総評すると、本試験時に、本模試のレベルの問題が出題されたと仮定するならば、7割から8割ほどの得点がボーダーとなると予想できるので、基本レベルの内容を確実に得点できるよう、基本知識の確認や反復演習を心掛けたい。

4. 会計学・経営学 まず、**会計学**の【No. 9】企業会計の基礎、【No. 10】損益会計は、難易度もやさしいため、2問とも正答してもらいたい。【No. 11】金融商品、【No. 12】固定資産、【No. 13】負債会計、【No. 14】純資産会計は、一部難易度の高い選択肢もあるが、できれば3問、悪くとも2問は正答してもらいたい。【No. 15】キャッシュ・フロー計算書は難易度が高いため正答できなくても気にする必要はない。【No. 16】仕訳は、ほぼすべて日商簿記3級レベルの仕訳であり簿記学習者にとっては正答するのは簡単だったであろう。次に、**経営学**の【No. 35】経営管理学説、【No. 36】事業部制組織、【No. 37】経営戦略論、【No. 39】マーケティング論はすべて頻出論点であり、難易度も比較的易しいため、できれば4問、悪くとも3問は正答してもらいたい。【No. 38】投資の決定方法は難易度の高い問題であるが、財務管理論としては投資の決定方法が頻出論点であるので、最低限この論点だけでもおさえるとよいだろう。【No. 40】我が国の会社制度は、経営学というよりは商法に属する出題であり、難易度の高い出題であるが、よく出題される論点である。株式会社を中心に復習しておいてもらいたい。

Ⅲ. 専門記述試験

1. 憲法 平成21年度は統治の分野から、平成22年度及び平成23年度は人権の分野からの出題であったため、本年度は統治からの出題が予想される。そして近時の問題は判例をベースに出題されることが多いので、免責特権にかかわる札幌病院院長自殺事件（最判平9・9・9）を素材にして出題してみた。問題文に指示があるので、指示に従って論述する必要がある。名誉権とプライバシー権の区別ができていない、免責特権の理解が不正確な答案も目立った。Y個人の責任と国の責任は区別して論じてほしかったところであるが、明確に区別されていない答案も目立った。

2. 民法 平成23年度は近時の判例をベースにした事例問題であり、しかも予想外の債権法からの出題であった。今後は債権法からの出題も視野にいれる必要がある。そこで、今回も債権法からいわゆる転用物訴権に関する判例（最判平7・9・19）をベースにした問題を事例形式で書いてみた。国税の民法記述の本試験は近時は事例形式がほとんどである。事例から基本論点を抽出できたかもポイントになる。今回は不当利得の成立要件を事例に関連づけながら論じる必要がある。本問は特に因果関係と法律上の原因の有無がポイントである。

3. 経済学 新古典派成長理論を出題したが、近年の出題傾向として、本模試のテーマのようにストーリーの長い、小問にわけて出題できる論点が狙われるので、出題予想を立てるときに参考にされたい。経済成長論は、証明過程における数式が複雑であるため、多くの受験生が難解であると感じているテーマであるが、実際は試験で問われるのはキーワードや結論であるため、論点を整理しておけば、択一試験にしても、記述試験にしても、十分に対応が可能である。本模試についても、新古典派の主張に沿って、キーワードをつなぎながら文章を作れば、ボーダーの得点は十分に期待できた。思うように得点が伸びなかった受験生は、解答例を参考にストーリーを意識して、キーワードを整理しておくことが望ましい。

4. 会計学 会計学は引当金に関する出題であった。本問は記述すべき内容が多いため、知っていることを全て書いてしまうと冗長な文章となるため、答案構成の段階で書くべきポイントを絞り（1）～（4）でバランスよく記述することが必要である。（1）、（2）の引当金の設定要件と分類は、択一式でも頻出論点であり本試験までにきちんとおさえてもらいたい。（3）任意積立金との比較、（4）退職給付引当金は難易度が高い論点なので書けなくとも気にする必要はない。

5. 社会学 全般的に、内容としてはだいたい合っているものの、キーワードが適切に示せていない例や、3類型の名称が誤っている例が散見された。他の試験種まで考えれば、社会学のみならず政治学でも出題される可能性があるテーマなので、よく復習しておくことが望ましい。

◆ TAC公務員講座 第2回公開模試 結果データ ◆

【国税専門官】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点	科目選択率
教養択一	19.5点	2,819名	文章理解	1～11	6.7点	必須
			数的処理	12～27	8.0点	必須
			自然科学	28～32	1.9点	必須
			人文科学	33～37	1.7点	必須
			社会科学	38～40	1.3点	必須
専門択一	19.7点	2,577名	民法・商法	1～8	4.7点	必須
			会計学	9～16	2.6点	必須
			憲法・行政法	17～22	4.0点	98.87%
			経済学	23～28	2.4点	78.58%
			財政学	29～34	3.1点	68.57%
			経営学	35～40	3.9点	57.28%
			政治学・社会学 ・社会事情	41～46	2.0点	69.81%
			英語（一般）	47～52	3.2点	17.54%
			商業英語	53～58	2.7点	8.81%
総合成績	326.53点 (標準点)	2,826名	—	—	—	—
専門記述	※平均点を出していません	1,620名	—	—	—	—